

① アマゾンショック

アマゾンのブライアン・オルサブスキー最高財務責任者(CFO) ⇒ 売上高の伸び鈍化は数四半期続く見込み

第2・四半期決算 ⇒ 北米の売上高の伸びは22%と、前年同期の43%から半分近くに鈍化。利益は48%増の78億ドルと、過去2番目の大きさとなったが、今後第3・四半期の営業利益は25億—60億ドルを予想。コロナ関連費用が10億ドルになるとのこと。

「ネット通販の伸び率は10—12%のレンジに減速するだろう」(アナリスト予想)

労働者不足のさなかに75,000人の従業員を確保するため、時給を米国の最低賃金の2倍強の17ドルに設定。50万人超の従業員を対象に賃上げも計画しており、10億ドル以上の費用増を見込む。

21年7~9月期の営業利益については前年同期比で3%減から60%減になる予想。

人手不足による賃金上昇 ⇒ 利益伸び悩み

GAFAの大きな方向転換になると思います。

【アマゾン:2年】



② コロナ感染拡大

米国 10 年国債利回りは、世界的なコロナ感染拡大を受けて 1.226%まで低下。景気悪化を完全に織り込んできています。

世界全体の感染者数は 74 万人／日に大幅増。集計の仕方にもよりますが、米国の感染拡大が目立ち始めました。

国内新規感染者数増加も止まりません。東京の新規感染者数が 1 万人/日を超えるのも時間の問題かもしれません。

日経平均株価は先週末 27283 円と、完全に下落トレンドに入ったと思います。

【米 10 年国債利回り:2 年】



世界各国・地域の新型コロナ	
	感染者数 (前日比)
世界	197,371,826人(740,230人)
米国	34,946,198 (195,165)
インド	31,613,993 (41,649)
ブラジル	19,880,273 (40,904)
フランス	6,166,690 (24,408)
ロシア	6,161,985 (23,016)
英国	5,857,639 (29,321)

【日経平均:2年】

